

コヒガタアシの駆除活動に参加しました！

4月22日(月)、23日(火)、碧南市の堀川で実施されたコヒガタアシの駆除活動に、当協議会からも多数の参加者が参加しました。

イネ科の外来植物であるコヒガタアシは、正式名称を「スパルティナ・アングリカ」といい、その強い侵入力で干潟を草原化し、植生を変化させ、水鳥の採餌場所を狭める等、生態系への影響が考えられることから、特定外来生物に指定されています。国内で初めて碧南市の堀川で確認され、侵入初期での駆除が求められています。

駆除活動には、当協議会構成員のNPOや行政から延べ44名が参加し、護岸部分を中心に引き抜きを行いました。コヒガタアシは、護岸のコンクリート部分や河床に根を張って生育しますが、参加者は泥だらけになりながら、スコップや鎌を使って根株ごと掘り取りを行いました。掘り取った根株は、そり等を使ってトラックまで搬入し、碧南市堀川ポンプ場で乾燥させた後、焼却処分場に搬入しました。

駆除作業はかなりの重労働でしたが、参加者の皆さんの頑張りのおかげで、生育範囲(約400m)のうち、の3分の2程度(約250m)の駆除を行うことができました。暑い中の作業でしたが、無事に活動を終了することができました。

国内で初めて確認された特定外来生物の、侵入初期段階での駆除活動ということで、西三河南部生態系ネットワーク協議会としても、地域の生物多様性保全に貢献する活動ができたと考えています。



コヒガタアシ



駆除活動の様子



駆除活動前の護岸



駆除活動後の護岸